

園芸市場情報

平成28年3月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

やっちゃば閑話 オール〇〇を効果的に行うために P8

首都圏掲示板 P9

<今月の4枚> *千葉県産春野菜の試食展示会を開催しました！！*

2月12日（金）、全農千葉県本部、（公社）千葉県園芸協会、千葉県の共催により、大田市場内において、なばな、葉たまねぎ、葉にんにく、たけのこなど、地域の特産品となっている春野菜とその加工品を一堂に集めて、試食展示会を開催しました。

葉たまねぎと原木しいたけの温かいスープや4種類の味付けをしたなばなの盛り合わせなど、用意した試食品は瞬く間に底をつき、来場者には大変好評でした。



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 2月（中旬まで）の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 3月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
特集「春だいこん」

II 花き情報

- 06 2月の経過（販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過）
3月の見通し（ガーベラ、鉄砲ユリ、キンセンカ）

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 1月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 オール〇〇を効果的に行うために

V 首都圏掲示板

- 09 「青森県知事によるりんごトップセールス開催」
「フラワーバレンタインPR活発に」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月（中旬）までの経過

野菜類

気象	<p>気温は、1月下旬に関東以西で冷え込みが強まり、特に九州を中心に記録的な低温となった。その一方で、2月からはかなり暖かい日もあるなど変化が大きく、2月上中旬は平年より高くなった。</p> <p>降水量は、西日本では平年より多く、関東では平年より少なくなった。日照時間は、全国的にほぼ平年並となった。</p>
入荷量	<p>関東産、西南暖地産が中心となった。</p> <p>依然として生育が前進している「キャベツ類」「にんじん」や、生育順調な「トマト」は前年を上回ったが、低温の影響を受けた「ほうれんそう」や、九州地域での雪害で「ばれいしょ」「そらまめ」等は前年を下回った。</p>
相場	<p>2月上中旬計では85,692t（前年比103.6%）と前年をやや上回った。</p> <p>「キャベツ類」「にんじん」等の生育順調な品目を除き、雪害の影響で少なくなった「ばれいしょ」や、低温の影響を受けやすい「ほうれんそう」等の葉物類の生育にブレーキがかかったことから、供給過剰感は払拭されつつあり、2月上中旬計では、262円/kg（前年比107.1%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>入荷量は前年に比べ、出荷ピークが過ぎた「みかん類」は大幅に下回り、出荷が早まっている「かんきつ類」は大幅に上回った。低温の影響を受けていた「いちご類」は、やや持ち直してきたが2月に入っても伸び悩み、前年を下回った。</p>
相場	<p>2月上中旬計では、24,562t（前年比93.7%）と前年をかなり下回った。</p> <p>価格は前年に比べ、入荷量が少なかった「みかん類」で大幅に上回り、入荷量が多かった「かんきつ類」もかなり上回った。「りんご類」「いちご類」も前年を上回るなど、果実全体で不足感が強く、前月と同様にかかなり高値となった。</p> <p>2月上中旬計では、460円/kg（前年比113.3%）と、高かった前年をかなり上回った。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

(単位:t、%、円/kg)

平成28年1月下旬～平成28年2月上旬

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年15日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	46,955	99.0	245	101.5	45,395	109.6	263	108.3	40,297	97.6	260	105.8	85,692	103.6	262	107.1
だいこん	市場計	5,026	100.3	69	75.5	4,826	112.0	86	87.9	3,859	94.4	69	81.2	8,685	103.4	78	85.7
	千葉	1,787	99.1	72	81.9	1,754	119.1	87	93.8	1,360	100.1	76	88.3	3,114	110.0	82	91.8
にんじん	市場計	3,072	111.1	79	104.7	2,798	117.1	96	114.3	2,364	104.3	90	106.9	5,162	110.8	93	110.9
	千葉	2,688	115.6	79	103.9	2,333	121.4	96	113.1	1,916	105.3	92	107.6	4,249	113.6	94	110.6
はくさい	市場計	4,944	101.8	57	132.9	4,802	111.1	57	107.8	3,500	79.7	50	111.1	8,302	95.3	54	110.7
	千葉	1	23.7	61	124.0	1	50.2	42	40.2	1	72.3	32	41.5	1	57.7	37	39.6
キャベツ類	市場計	5,970	108.6	64	57.3	5,910	122.3	67	70.3	5,295	105.0	68	71.7	11,206	113.5	67	70.9
	千葉	1,661	246.3	61	57.3	1,280	214.7	68	77.9	1,189	184.4	66	77.3	2,469	199.0	67	77.7
ほうれんそう	市場計	457	67.1	696	130.6	483	80.6	634	137.2	500	91.8	479	95.2	983	85.9	555	115.3
	千葉	95	76.8	561	125.0	88	82.3	514	130.7	85	94.8	395	93.1	174	88.0	456	111.8
ねぎ	市場計	1,978	102.0	293	131.3	1,864	105.4	287	119.1	1,608	100.9	259	110.3	3,472	103.3	274	115.1
	千葉	779	118.9	304	126.2	746	110.7	296	114.4	674	104.0	261	105.7	1,420	107.4	280	110.5
レタス類	市場計	2,359	87.3	293	101.3	2,345	103.9	306	109.7	2,091	98.3	329	111.5	4,436	101.2	317	110.5
	千葉	205	100.9	303	105.5	177	96.4	307	115.0	155	99.3	310	110.3	332	97.8	308	112.8
きゅうり	市場計	1,605	92.5	548	128.6	1,640	106.3	526	113.2	1,802	104.2	409	106.5	3,442	105.2	465	110.1
	千葉	313	97.6	517	121.8	323	102.2	497	110.9	374	100.1	381	104.1	697	101.0	435	107.7
なす	市場計	448	85.0	633	134.7	547	126.5	554	96.1	640	129.1	457	89.2	1,187	127.9	502	92.5
	千葉	3	94.3	765	132.0	4	106.2	721	110.7	5	130.5	591	90.7	8	118.7	647	99.4
トマト	市場計	1,555	82.4	552	135.6	1,761	105.6	553	130.3	1,967	120.6	438	90.1	3,728	113.0	492	108.3
	千葉	81	114.5	494	127.0	79	122.4	512	124.4	95	140.3	424	90.4	174	131.6	464	105.2
ピーマン	市場計	524	105.9	736	107.6	408	86.3	881	117.3	498	113.1	812	111.3	906	99.2	843	113.8
	千葉	1	129.5	1,186	123.4	1	141.3	1,327	107.0	1	41.7	1,162	121.1	2	64.0	1,243	121.6
さといも	市場計	267	109.4	306	100.8	248	111.3	308	103.2	212	96.3	320	106.0	460	103.8	313	104.5
	千葉	82	104.9	282	98.1	88	113.1	297	106.5	78	102.1	305	109.6	166	107.6	301	108.0
ばれいしょ類	市場計	3,301	89.1	140	134.8	2,778	93.3	178	166.5	2,262	80.3	181	157.8	5,040	87.0	179	162.0
	千葉	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	2	642.9	129	137.6	2	134.8	129	148.5
たまねぎ	市場計	4,123	114.7	83	75.1	4,120	116.5	93	85.0	3,581	94.0	101	91.5	7,701	104.9	97	88.0
生しいたけ	市場計	237	94.5	1,138	104.6	224	109.3	1,147	106.1	203	100.8	1,071	99.6	427	105.1	1,111	103.0
かぼちゃ	市場計	1,090	119.8	193	91.0	1,007	116.1	205	104.6	903	109.3	184	94.2	1,910	112.8	195	99.7
さやえんどう	市場計	48	72.7	1,264	122.3	37	73.4	1,755	163.1	39	78.0	1,565	124.0	76	75.7	1,657	141.8
かんしょ	市場計	1,277	96.0	232	111.6	1,215	106.8	241	113.9	1,079	94.0	243	107.7	2,295	100.4	242	110.7
	千葉	682	96.1	215	113.3	654	111.6	226	116.0	565	96.9	230	112.7	1,219	104.3	228	114.2
かぶ	市場計	559	101.2	129	86.3	497	102.3	147	104.5	473	97.4	144	102.5	970	99.9	146	103.5
	千葉	505	105.6	128	85.7	444	104.0	148	105.3	430	102.2	143	102.1	873	103.1	146	103.7
ごぼう	市場計	303	88.2	358	133.6	343	92.5	358	146.5	279	84.7	351	133.9	622	88.8	355	140.4
	千葉	0	21.3	293	59.2	0	51.6	302	53.5	0	56.6	409	76.2	0	54.1	357	64.8
こまつ菜	市場計	392	112.7	436	97.3	398	130.2	416	104.5	392	128.0	343	84.5	790	129.1	380	94.4
	千葉	26	124.6	403	96.6	19	101.5	407	108.1	19	120.8	333	87.5	38	110.2	371	97.9
こねぎ	市場計	122	84.9	948	97.7	118	102.4	1,110	123.6	123	103.2	1,129	125.0	242	102.8	1,120	124.3
わけぎ	市場計	6.9	95.7	706	86.4	6.9	103.7	757	106.2	6.1	96.2	879	120.8	13.0	100.0	814	113.1
糸みつば	市場計	49	87.9	570	112.4	53	106.3	641	121.2	48	95.6	468	103.1	102	100.9	559	113.8
しゅんぎく	市場計	128	93.7	824	123.6	111	101.9	669	108.1	111	102.5	495	80.2	223	102.2	582	94.2
	千葉	53	89.2	811	124.4	45	101.2	656	108.6	46	109.3	484	79.5	91	105.1	569	93.8
にら	市場計	326	108.4	724	91.3	289	105.3	943	130.3	275	96.6	864	123.1	564	100.9	904	126.9
セルリー	市場計	296	94.8	262	100.5	315	111.1	256	93.7	329	96.1	236	89.3	645	102.9	246	91.6

品目	産地	1月下旬				2月上旬				2月中旬				2月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年8日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年15日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	62	45.8	418	182.8	82	95.3	403	151.5	83	89.9	333	109.5	165	92.5	367	128.7
ブロッコリー	市場計	687	66.0	498	124.1	741	102.8	461	112.5	711	110.8	450	91.1	1,452	106.5	456	101.4
サラダ菜	市場計	31	98.1	612	89.4	29	102.1	859	128.8	31	98.9	711	122.3	59	100.4	782	125.8
	千葉	12	117.6	533	83.1	12	132.1	810	127.9	14	127.7	665	118.3	26	129.7	731	123.1
パセリ	市場計	22	94.8	864	76.4	22	101.6	868	80.1	19	89.4	920	96.4	41	95.4	893	87.7
	千葉	12	106.8	732	67.1	11	114.0	769	73.2	10	97.7	829	91.0	21	105.7	797	81.5
チンゲンサイ	市場計	166	111.9	294	81.5	152	115.3	329	95.0	141	115.5	309	93.7	293	115.4	320	94.4
エンダイブ	市場計	5	75.7	691	111.2	6	92.9	758	144.4	5	94.8	696	120.8	11	93.8	728	132.4
ミニトマト	市場計	491	97.6	844	112.3	487	121.7	1,007	127.3	499	125.2	911	103.4	987	123.5	958	114.6
	千葉	32	92.1	964	115.6	32	108.3	1,103	126.7	38	115.3	970	103.4	70	112.0	1,030	113.7
とうもろこし	市場計	6	281.6	367	70.8	3	87.0	357	76.0	1	56.0	413	83.5	4	74.7	373	77.9
いんげん	市場計	102	92.6	945	105.3	102	107.5	1,037	113.7	94	100.7	980	99.6	196	104.1	1,010	106.5
そらめめ	市場計	37	88.9	649	90.1	14	28.2	1,284	173.9	9	19.0	1,585	206.1	23	23.8	1,399	185.8
えだまめ	市場計	3	168.5	1,642	135.1	4	390.4	1,196	107.3	16	118.6	721	118.6	20	139.6	823	127.3
やまといも	市場計	49	85.5	710	118.3	52	103.4	680	116.4	42	90.1	663	113.4	94	97.0	673	115.1
	千葉	30	78.5	715	119.2	33	104.1	683	115.2	27	93.0	660	109.9	60	98.8	672	112.7
根しょうが	市場計	114	101.3	591	96.6	122	117.1	607	99.8	102	93.4	579	96.7	224	104.9	594	98.5
マッシュルーム	市場計	50	108.5	938	98.3	51	127.7	903	95.7	47	112.2	900	94.2	98	119.8	902	95.0
外国産	—	1,467	94.0	280	102.8	1,475	98.0	312	117.4	1,376	92.4	301	111.6	2,851	95.2	307	114.6
果実総量	—	14,320	93.6	434	111.6	13,331	100.7	452	113.7	11,231	86.5	470	113.2	24,562	93.7	460	113.3
みかん類	市場計	4,890	79.3	328	134.3	3,292	74.7	340	139.9	1,952	52.3	340	139.7	5,245	64.5	340	139.8
(早生みかん)	市場計	189	53.2	495	137.6	56	47.9	496	157.2	14	26.1	478	131.4	71	40.9	492	148.8
かんきつ類	市場計	3,433	110.9	333	106.0	4,214	130.5	324	106.8	3,840	105.3	335	110.3	8,054	117.1	329	108.5
りんご類	市場計	2,940	111.8	293	105.7	2,754	102.1	295	104.5	2,443	95.1	306	109.2	5,197	98.7	300	106.7
(ふじ)	市場計	2,451	111.6	291	106.9	2,343	102.1	293	105.5	2,051	93.7	305	110.7	4,394	98.0	299	107.9
いちご類	市場計	1,105	80.4	1,583	114.0	1,265	100.2	1,568	109.8	1,373	94.6	1,414	99.6	2,638	97.2	1,488	104.5
(とちおとめ)	市場計	662	95.2	1,434	114.2	693	110.0	1,432	110.8	709	107.3	1,298	102.4	1,402	108.6	1,364	106.6
(あまおう)	市場計	148	57.2	1,982	114.6	200	81.8	1,921	109.6	218	74.9	1,715	98.5	418	78.1	1,814	103.9
メロン類	市場計	135	123.4	1,050	74.2	136	113.2	1,017	82.7	120	114.7	996	88.1	256	113.9	1,007	85.1
	千葉	4	104.9	1,005	55.4	5	107.0	1,034	81.0	4	86.9	1,241	104.1	8	97.3	1,124	91.0
(アールスメロン)	市場計	81	116.5	1,356	71.8	77	117.3	1,342	80.5	69	108.6	1,383	95.5	147	113.0	1,362	87.3
	千葉	4	104.9	1,005	55.4	5	107.0	1,034	81.0	4	86.9	1,241	104.1	8	97.3	1,124	91.0
ぶどう類	市場計	34	149.3	471	108.9	23	142.1	528	111.5	20	148.1	584	117.5	43	144.8	553	114.4
かき類	市場計	104	51.2	452	126.1	27	28.7	502	133.3	10	37.8	686	173.7	37	30.7	553	145.1
外国産	—	1,378	101.7	218	98.1	1,468	119.4	226	98.3	1,417	116.8	223	97.1	2,885	118.1	225	97.7

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。

0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 3月の見通し

野菜

関東と東海、九州・四国の西南暖地が中心産地となる。

入荷量は、前年が多かった「キャベツ類」は前年をかなり下回るが、多くの品目で前年並となり、特に生育順調な「ほうれんそう」や前年が少なかった「きゅうり」は前年を上回るため、全体では本年の入荷量は前年を上回る見込み。

価格は、前年が高かった「トマト」や、入荷潤沢とみられる「ほうれんそう」「きゅうり」で前年を下回ると予想され、全体として前年を下回る見込み。

果実

「かんきつ類」「いちご類」「りんご類」「みかん類」を中心に出回る。

入荷量は、「かんきつ類」は不作と出荷前進により、「みかん類」も出荷前進により減少ペースが早まり、いずれも前年を大幅に下回る見込み。「いちご類」は少なかった前年を上回る見込み。全体では前年を下回る見込み。

価格は、入荷量の減少が見込まれる「かんきつ類」「みかん類」は前年を大幅に上回る見込み。果実全体でも品薄感が強まることから、「りんご類」「いちご類」も堅調な販売が続くことが見込まれ、全体では前月と同様に前年を上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	⇒	↘↘	主産地の神奈川・千葉ともに生育順調。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
にんじん	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産地の千葉は生育順調で、後続の徳島は生育前進気味。入荷量は前年並及び平年並の見込み。
キャベツ類	↘↘	⇒	⇒	↓↓↓	愛知は生育順調な一方、千葉は生育前進で端境となる。入荷量は多かった前年を下回り、平年並となる見込み。
ほうれんそう	↗↗	↗	↘	↗↗	主産地の茨城・群馬とも生育順調。入荷量は前年及び平年を上回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	⇒	↘↘	主産地の千葉は生育順調。埼玉は生育前進で切りあがり例年より早まる予想。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
きゅうり	↗	⇒	↘	↑↑	主産地の群馬・宮崎・千葉は生育順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
トマト	⇒	⇒	↓↓↓	⇒	熊本では若干の生育遅れは見られるも入荷に影響なし。栃木も生育順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。

増加

減少

凡例	
⇒	平年並：±2%
↗, ↘	やや高, やや低：±3～5%
↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低：±6～15%
↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低：±16%以上

3 品目別生産出荷概況

春だいこん

主要産地のだいこんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	27年3月入荷量	27年3月シェア率
神奈川県	7,644 t	57.5 %
千葉県	4,677 t	35.2 %
青森	0 t	0.0 %
北海道	0 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

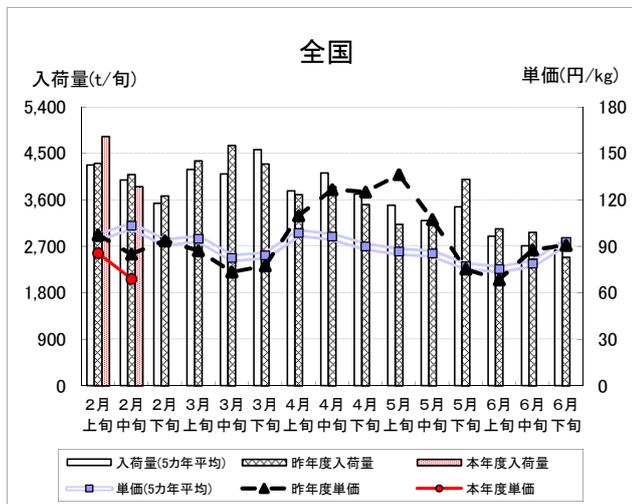
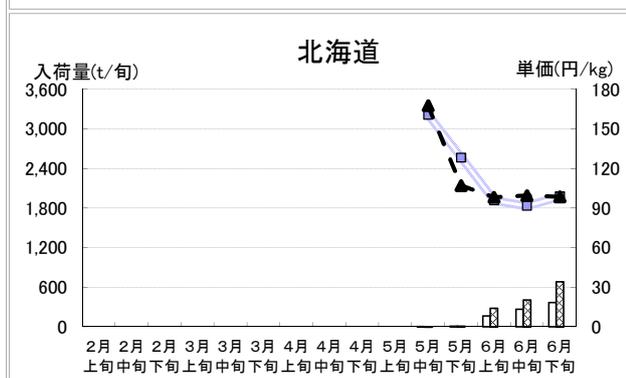
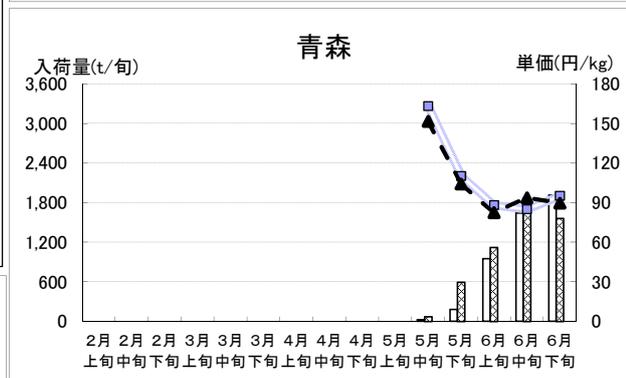
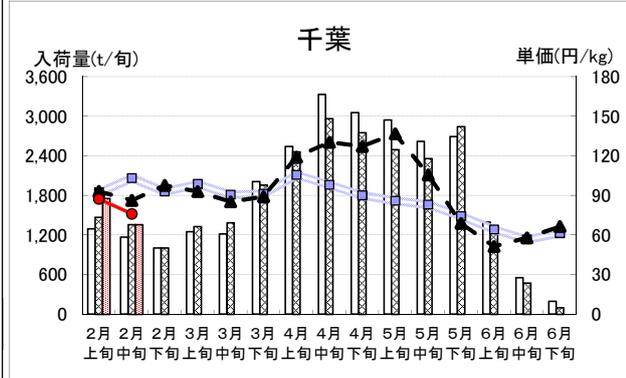
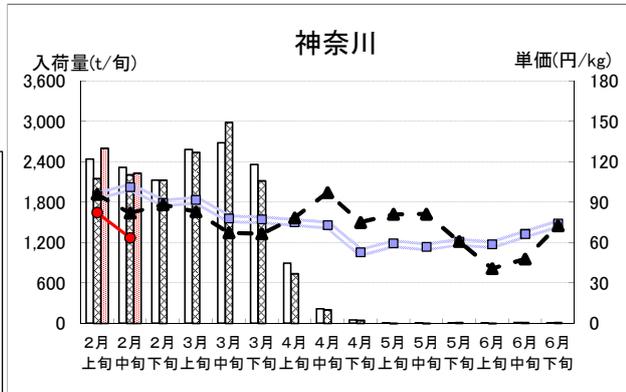
東京都中央卸売市場における春だいこんの中心産地は神奈川県と千葉県です。3月までは神奈川県が多く、4~5月は千葉県が中心となります。6月に青森県や北海道の夏だいこんが入り始めるまでの間、両県で入荷量の大半を占めます。

神奈川県は、これまでよりは小ぶりなものの生育は順調で、2L中心の入荷が見込まれています。3月の入荷量は前年及び平年並の見込みです。

千葉県は、3月から露地栽培からトンネル栽培の出荷物に切り替わります。1月前半までの気温高によりやや前進していますが、生育は概ね順調です。入荷量は多かった前年を下回りますが、平年並の見込みです。

秋冬作は、神奈川県産、千葉県産とも出荷が前倒しとなっているため、例年よりも入荷量の減少ペースが早まっていますが、春作もやや前進化しているため大きな端境とはならず、3月の入荷量は前年及び平年並の見込みです。価格は、現在の弱めの展開が続くことが見込まれており、前年並で、平年を下回る見込みです。

3月入荷予測	13,100t(前年比98.5%、平年比101.9%)		
3月価格予測	80円(前年比100.9%、平年比91.8%)		
3月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗



II 花き情報

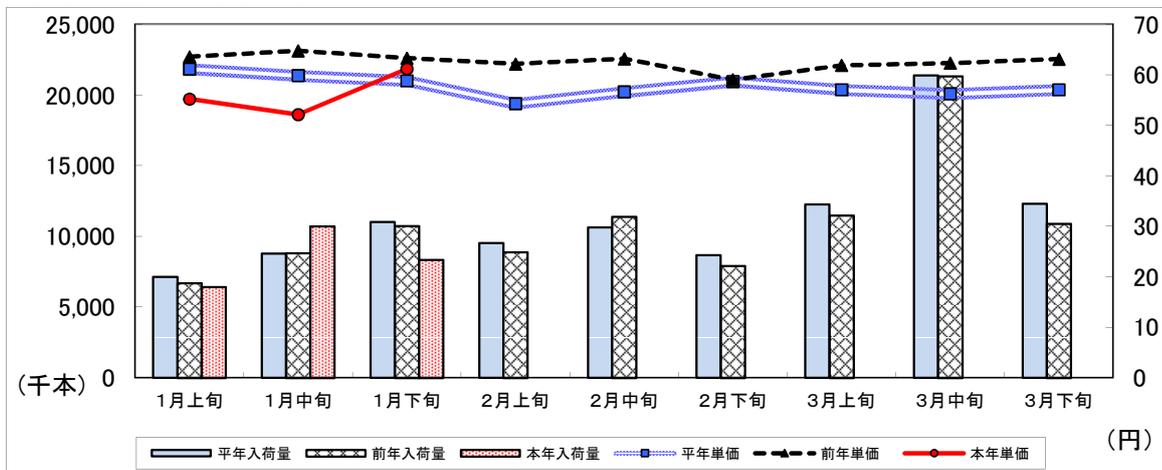
1 2月の経過（切花・上～中旬）

平年並の入荷量となる中、フラワーバレンタインに向けた需要の高まりから洋花を中心に引き合いが強まり、単価は平年を上回った。

(1) 販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	入荷量は平年並であった。
相場	フラワーバレンタインに向けた需要の高まりで洋花を中心に引き合いが強まり、単価は平年を上回った。
品目等	フラワーバレンタインに向けて、バラ、カーネーション、ガーベラなどの洋花で、赤系を中心に引き合いが強まった。

(2) 入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



(3) 品目別経過

品目	経過	
カーネーション	大田花き	上旬を中心に、業務需要向けの白のSTや、フラワーバレンタイン向けのダークレッド・パープル系で引き合いが強まった。
ガーベラ	大田花き	静岡産を中心に安定した入荷となった。フラワーバレンタイン向けに、赤、ピンク系を中心に引き合いが強まった。
	東日本板橋花き	安定した入荷の中、バレンタイン需要に向けた引き合いが見られた。
カラー	大田花き	主力である千葉県産の入荷量が冷え込みの影響で少なく、平年よりやや高値での取引となった。

2 3月の見通し

品目	見通し	
ガーベラ	大田花き	第2週目から彼岸の取引が始まり、ピンク、黄色系中心に引き合い強くなる見込み。下旬にも連休があり、需要が高まる。
鉄砲ユリ	大田花き	鹿児島県産中心の入荷となる。気温高の影響により生育が2週間程度前進しており、彼岸の需要期には入荷量が減少していく見込み。岐阜県産、千葉県産も出荷あるものの数量は多くはない。
キンセンカ	大田花き	生育は前進傾向。3月の入荷量はそれなりにある見込みだが、主枝をピンチした枝仕立ての規格が増える見込み。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H28.1月				累計 (H27.4~H28.1月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	22,698	168	99	87	244,458	192
だいこん	2,905	56	99	69	31,635	83
にんじん	1,724	71	98	94	16,521	128
はくさい	2,392	49	84	111	19,087	78
キャベツ	4,231	57	116	54	44,381	92
ねぎ	1,155	233	111	104	9,367	299
トマト	610	517	76	128	12,404	346
きゅうり	657	421	93	98	9,957	302
ばれいしょ	1,334	126	78	126	12,727	150
たまねぎ	1,705	70	112	72	18,277	102
レタス	808	256	94	83	11,322	200
果実	5,077	382	96	108	59,005	316
みかん	2,010	275	89	129	12,687	228
かき類	40	427	41	135	4,011	220
グレープフルーツ	84	250	90	109	1,662	182
なし類	10	268	111	108	5,321	305
ぶどう類	11	568	91	128	1,996	713
いちご類	424	1,390	87	107	1,917	1,129
すいか類	4	284	144	160	6,342	182
メロン類	24	865	79	135	3,222	380
バナナ	377	178	95	103	4,601	168
りんご	790	277	90	109	6,760	296
その他	267	243	95	86	2,558	187
青果物合計	28,042	208	97	94	306,021	216

2. 花き

単位：千本（鉢）、円/本（鉢）、%

品目	H28.1月				累計 (H27.4~H28.1月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,111	55	106	93	27,600	57
きく	729	63	111	87	9,698	63
バラ	80	75	94	100	1,051	69
カーネーション	204	42	99	85	3,367	46
枝物	59	95	96	100	1,258	93
鉢物	46	149	68	119	1,228	118
その他	2	103	100	95	43	150
花き合計	2,218	58	104	93	30,129	62

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV やっらゃば閑話

－ オール〇〇と効果的に行うために －

首都圏マーケティングセンターに着任してから3年が経とうとしています。これまで、市場や量販店等での色々な売り込みを見てきました。

近年目立つのが、ここ1～2年で急に浸透してきた「オール〇〇」というフレーズ。市場内の販促でも「オール〇〇県」という売り込み文句をよく見ます。

同じ志向を持つ産地や関係機関が、一致団結して売り込むというオール〇〇。特に「オール〇〇県」という、県単位で連携するのが、近年のトレンドのようです。

かくいう千葉県も、トマトやニンジン、ねぎ、さつまいもなどをはじめとして、7品目でオール千葉の取組を進めており、県内産地や関係団体が一体となって生産・販売振興に取り組んでいます。

しかし、そういった「オール〇〇県」というフレーズを使った取組の中に、ちょっと首を傾げてしまうようなものも見受けられるようになってきました。

例えば、産地県ごとの品質ではなく、商品そのものの需要の低迷が問題となっている品目。こういった品目では「オール〇〇県」という地域ごとの宣伝では何の訴求力も持ちません。

輸出農産物についても同じことが言えるのではないのでしょうか。オール〇〇県で輸出に取り組んでいる県もありますが、「〇〇県の●●をよろしくお願いします！」という言葉の海外での訴求力はどの程度あるのでしょうか。

逆に考えて、輸入農産物の州・県名をどこまで意識して買いますか？私は様々な販促活動の中で卸会社のセリ人、バイヤー、青果マネージャ、消費者の方など様々な人と話をしてきましたが、「俺はバナナはコタバト州より東ミンドロ州派だな」とか、「私はノースダコタ州のジャガイモが欲しいんです！」みたいな人には会ったことがありません。せいぜい「今年のアメ리카産のオレンジは品質が安定しているね」程度です。

オール〇〇という形で産地や関係機関が連携することで、より効果的に生産・販売に取り組むことができるのは確かです。しかし、取り組む品目の性質によって、その連携する範囲なり規模なりをしっかりと見極める必要があります。

「オール〇〇県」がトレンドになりつつある今だからこそ、取り組んでいる皆さんも、これから取り組もうとしている皆さんも、本当に効果的な産地・関係機関の連携について、立ち止まって考えてみるべきではないでしょうか？

(へたれボルダラー)

V 首都圏掲示板



青森県知事によるりんごトップセールス開催



りんご生産者でもある「ミスりんごあおもり」と息もぴったり。



もはや恒例(?)の衣替え。
「晴天の霹靂」をTシャツでPR。

2月6日(土)、大田市場で青森県の三村知事によるりんごトップセールスが開催されました。

早朝の冷え込みが厳しい中、三村知事は半袖の真っ赤なりんご柄アロハシャツで登場。「りんごをしっかりと売って、商売繁盛！」と陽気に話しながら、自ら試食品を市場関係者に配り歩いていました。

挨拶では、「去年は販売額1,000億円を達成できました。これからも、後継者育成をしながら、最高品質のりんごをお届けします！」とりんごをPR。それに続いて、突如アロハシャツを脱ぎ捨て、青森県の米の新品種「晴天の霹靂」を前面にプリントしたTシャツで、「米が安定してこそそのりんご栽培です。『晴天の霹靂』もよろしくお願ひします！」と、米もちゃっかり売り込んでいました。

盛り上げ上手な三村知事に乗せられて、会場は終始和やかな雰囲気にもまれていました。



フラワーバレンタインPR活発に

今年もバレンタインデーに向け、都内各所で花き消費拡大のPR活動が盛んに行われました。

2月6日(日)には六本木ヒルズで(一社)花の国日本協議会と愛知の関係団体による「あなただけのスイートブーケ with あいちの花」が開催されました。

当日は愛知県内の生産者、流通・小売業者等の有志で結成された「花男子プロジェクト」による生演奏やアレンジデモンストレーション、会場内のカップルによる花贈り体験などが行われました。花をバックに写真を撮る家族連れも多く、華やいだ雰囲気の中、会場は多くの人で賑わいました。

